

縁	世田谷区立砧中学校 校長室だより 令和4年 4月 6日 第 4 号 校長 大坂 崇	教育目標 「豊かな人間性の育成」 ◎ 集団生活における責任感と自主性を養う ◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う ◎ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる		
		社会性の学び	知的な学び	心と体の学び
		自他の尊重 地域貢献	主体的な学び 学習の定着	心身の健康

大切にしたいこと

1 教職員の仕事の仕方 = 大切にしたい3つの視点

生徒の様子や変化、教師自身の客観的な自己変容に敏感 ……………
理論や経験に基づく、構造化された指導の技術 ……………
指導や指示、検討、要望への回答の基（法・通知・論・通説等） ……………

**感性
スキル
根拠**

「感性」がなければ、血の通わない冷たい教員、と思われる
「スキル」がなければ、技術がなく実力のない教員、と思われる
「根拠」がなければ、考えや一貫性のない教員、と思われる

「感性」：情熱・愛情・客観性・効果性・効率性・感覚 等
「スキル」：S S T・指導技術(教科・全体指導等)・特別支援 等
「根拠」：法律・通知・教育論・客観的一般的学説・〇〇学 等

2 何のためかを見失わない = 手段と目的の明確化

(例) 数学の一次方程式の解き方

本来 ⇒ 目的：順序立てて計画的に物事进行处理し、構造的な思考を身につける

手段：等式の性質、移項を学び、1次方程式の解き方を理解する

But ⇒ 目的：等式の性質、移項を学び、1次方程式の解き方を理解する

手段：全員一斉に同じ宿題で家庭での演習など……

*このタイプの勘違いが、非常に多い

*理解できている生徒はやる必要はない(わからない生徒の個々に合わせた補充)

◎ 手段を目的化しない

◎ 目的は「自主・自律」「協働・共生」「創造・挑戦」

これからの学校教職員に必須の意識……

「感性」「スキル」「根拠」の意識

「目的」を意識し、「手段」を目的化しない意識